

令和元年第4回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
1 (3)	進藤久美子	<p>公営住宅への入居に際しての取扱いについて</p> <p>近年、身寄りのない単身高齢者等が増加していることなども踏まえると、今後、公営住宅の入居に際して保証人の確保が困難となることが懸念されるとして、国土交通省では、「公営住宅管理標準条例（案）」を改正し、保証人に関する規定を削除しました。</p> <p>これにより、住宅に困窮する低額所得者に対して的確に公営住宅が供給されるよう、特段の配慮をお願いする旨の通知が平成30年3月30日付で国土交通省住宅局から出されているところです。</p> <p>本町では、公営住宅に入居の際、連帯保証人を2名と規定しているところですが、このことを受け、その取扱いについて町長はどのようなお考えをお持ちになっているか伺います。</p>	町長	
2 (2)	村井 利行	<p>町の地域公共交通について</p> <p>議会では、10月から住民の皆様との意見交換会である「くるま座ミーティング」を8行政区を対象に6回、民生委員児童委員を対象に1回、味覚まつりでの「かたるベサロン」を1回実施し、延べで約150人に参加いただきました。</p> <p>その中で、最も関心の高かったテーマは、地域公共交通についてです。（便数が少ない、バス停まで遠い、予約が面倒等々・・・。）</p> <p>運行を主導する町としても国・道からの補助金の関係、運行会社への助成金等、課題の多いテーマだと思われます。しかし、高齢化社会が深刻になりつつある今日、地域公共交通の充実、避けて通れないと思います。</p> <p>免許の自主返納・高齢者の事故防止とも関連する課題でもあります。</p> <p>現状の地域公共交通を更に発展させるべく、より利便性を考慮した新たな交通体系の検討を進めていただいているところでありますが、今現在の考え方、方向性についてお尋ねを致します。</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
3 (5)	小玉 博崇	<p>将来に向けた協働のまちづくりについて</p> <p>2012年に策定された第5次総合計画の計画期間が2021年と残り2年余りとなりました。地方分権を進めるなか、総合計画における本町の町づくりの基本的な考え方は「みんなでつくる」住民参加の町づくりを目標としてきました。</p> <p>しかし、人口の減少に歯止めはかからず、生産年齢人口の減少による地域経済の低迷、地域コミュニティの衰退などから町の活性化という面では厳しい状況が更に進行すると考えられます。</p> <p>今後の町づくりには、住民や民間企業との協働が不可欠となり、新しい発想で新十津川の未来を考え、切り拓いていく必要を強く感じるとともに、次期総合計画策定には、住民の「参加」ではなく、「参画」を進めていく必要があると考えます。</p> <p>「町の課題は行政が解決する」という根強い風潮の中、将来に向けた官民協働のまちづくり実現に向け、仮称「未来のしんとつかわを考える会」を立ち上げ、次期総合計画策定に向け、次年度から協議を進めてはいかがでしょうか。</p>	町 長	